

1 ニクズク

2 生薬の性状の項を次のように改める。

3 生薬の性状 本品は卵球形～長球形で、長さ1.5～3.0 cm、径
4 1.3～2.0 cmである。外面は灰褐色を呈し、縦に走る広くて
5 浅い溝と網目様の細かいしわがある。通例、一端には灰白色
6 ～灰黄色の僅かに突出したへそがあり、他端には灰褐色～暗
7 褐色の僅かにくぼんだ合点がある。切面は暗褐色の薄い周乳
8 が淡黄白色～淡褐色の内乳に不規則に入り込んで、大理石様
9 の模様を呈する。

10 本品は特異な強いにおいがあり、味は辛くて僅かに苦い。

11 本品の横切片を鏡検（5.01）するとき、外乳は外層と内層
12 からなり、外層は赤褐色～暗赤褐色の内容物を含む柔組織か
13 らなる。内層は赤褐色～暗赤褐色の内容物が充満した柔組織
14 からなり、しばしば内乳中に入り込み、その部位に多数の油
15 細胞が散在する。内層のところどころに維管束があり、らせ
16 ん紋道管が認められる。内乳の柔細胞中に単粒又は複粒ので
17 んぶん粒及びアリュースロン粒、外乳の外層及び内乳の周縁部
18 の柔細胞中に多数のシュウ酸カルシウムの結晶が認められる。

19
20